



原 作 出 版 7 5 周 年

きかんしゃトーマス展

● The Railway Series THOMAS & FRIENDS ●

展覧会名 原作出版75周年
「きかんしゃトーマス展」～ソドー島のなかまたちが教えてくれたこと～

会期 2021年12月4日(土)～2022年1月16日(日)

休館日 2021年12月7日(火)、13日(月)、20日(月)、30日(木)～2022年1月1日(土)、11日(火)

時間 9:30～17:00(入場は閉館時間の30分前まで)

会場 あかがねミュージアム(2階 新居浜市美術館 展示室1)

料金 一般800円(600円)・小学生以下500円(300円)
※()内は前売り料金。
※3歳未満は無料。
※未就学児は要保護者同伴。
※各種障がい者手帳提示で、ご本人様と介護者1名無料。

主催 きかんしゃトーマス展実行委員会
(新居浜市美術館、ハートネットワーク、あかがねミュージアム運営グループ、
新居浜市観光物産協会)

協力 マテル・インターナショナル株式会社、ソニー・クリエイティブプロダクツ、
ポプラ社、大東文化大学 英米文学科教授 河野芳英

企画制作 東映株式会社

後援 愛媛県教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、
テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ

[本資料に関するお問い合わせ]

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2-8-1

きかんしゃトーマス展実行委員会事務局(あかがねミュージアム内) 担当:野間

TEL:0897-31-0305 FAX:0897-31-0306 Email:info@akaganemuseum.jp



© 近藤勝也 2015

展覧会について

世界中の子どもたちから愛される「きかんしゃトーマス」は、イギリスの牧師 ウィルバート・オードリーが、病気の息子を励ますために即興で語り聞かせた機関車の物語がはじまりでした。

繰り返し話すうちに留められた物語を、妻のすすめで絵本として1945年に出版したのが、「汽車のえほん」の第1作となる『3だいの機関車』でした。それからほぼ年1回のペースで出版を続け、26冊もの絵本を残しました。そして、模型を使った実写アニメーション、現在放映中のCGアニメへと繋がっていきます。

物語には、子どもたちを楽しませたいという思いとともに、牧師であった原作者ならではの道徳的価値観が表現されています。失敗や反省を繰り返しながら自分や、仲間、仕事と向き合っていく機関車たちの姿からは、正直、誠実、努力、協力など、今の時代にも共感できる教訓を読み取ることができます。

本展は物語に込められたメッセージに着目して構成し、3組4人の画家によって描かれた挿絵原画180点(日本初公開を含む)をはじめ、オードリー牧師直筆の草稿や、人形劇に使用されたプロップス(小道具)などをご紹介します。

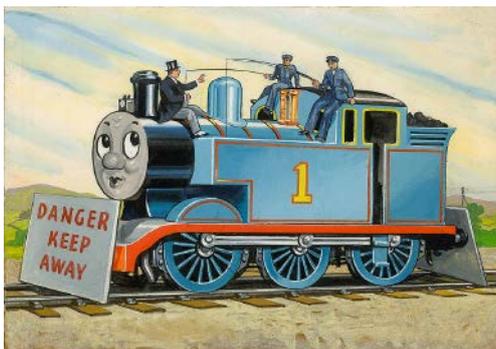
きかんしゃトーマスについて

きかんしゃトーマスは2020年に原出版75周年を迎えた、特に未就学児に大人気のキャラクターです。イギリスの牧師、ウィルバート・オードリーが描いた「汽車のえほん」シリーズに登場すると「きかんしゃトーマス」は人気キャラクターになり、その後、イギリスの映像プロデューサー、ブリット・オールクロフトにより1984年に映像化されました。現在までにエピソード数は500話以上にのぼり、世界230以上の地域・67の言語で放送されています。日本でも、絵本出版から45年以上、テレビ放送から30年以上の歴史があり、現在はNHK Eテレで毎週日曜日に放送されています。また、玩具・絵本・アパレルといった商品に加えて、多様なイベント・テーマパーク・映画など、多数のタッチポイントで展開を行っています。

- 1945年 イギリスで「汽車のえほん」シリーズ第1巻『The Three Railway Engines (3だいの機関車)』を出版。
- 1946年 第2巻『Thomas the Tank Engine (機関車トーマス)』を出版。はじめてトーマスが登場。
- 1972年 第26巻『Tramway Engines (わんぱく機関車)』出版。ウィルバート・オードリーの最後の絵本に。
- 1984年 イギリスのBBCテレビで「きかんしゃトーマスとなかまたち」が放送開始。
- 1990年 日本のフジテレビ「ひらけ！ポンキッキ」内のコーナーで、はじめて「きかんしゃトーマス」が放送。
- 2009年 実写からCGアニメに変換。
- 2020年 原出版75周年

見どころ

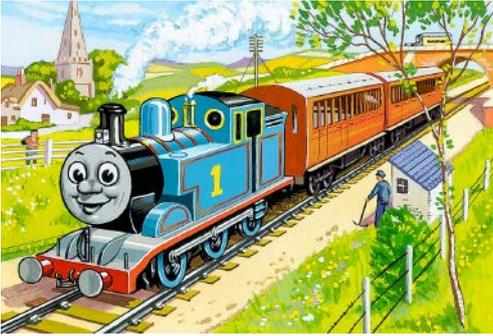
● みどころ1 物語に込められたメッセージ



レジナルド・ダルビー 『トーマスのさかなつり』1949年

「自分と向き合う」「仲間と向き合う」「仕事と向き合う」という3つのテーマに沿って、展示を構成。物語の中で機関車たちが繰り広げる失敗や反省、協力や思いやりの行動などを通し、今の時代にも通ずる道徳的価値観、オードリー牧師が伝えたかったメッセージを紐解きます。

● みどころ2 日本初公開品を含む、3組4人の画家による絵本原画。



レジナルド・ダルビー『トーマスと車しよう』1949年

「汽車のえほん」シリーズの挿絵は、3組4人の画家によって描かれています。色鮮やかで親しみやすいタッチのC・レジナルド・ダルビー（1巻～11巻を担当）、写実的なタッチが特徴のジョン・T・ケニー（12巻～17巻を担当）、顔の表情を豊かに描くガンバー & ピーター・エドワーズ夫妻（18巻～26巻を担当）、日本初公開作品を含む約180点をご紹介します。



ジョン・T・ケニー『ダック、とこやさんへいく』1958年



ガンバー&ピーター・エドワーズ『エドワードのはなれわざ』1966年

● みどころ3 展覧会でしか見られないオフィシャル動画「ライフレスンズ」日本語版



『ライフレスンズ』

トーマスと仲間たちから人生の教訓が学べる“ライフレスンズ”。「みんなやくにたつ」「しかえしはよくない」「はなしをちゃんときく」「たすけあう」など、全9本。アニメと同じ声で吹き替えられた日本語バージョンが見られるのは本展会場だけです。

その他の楽しみ

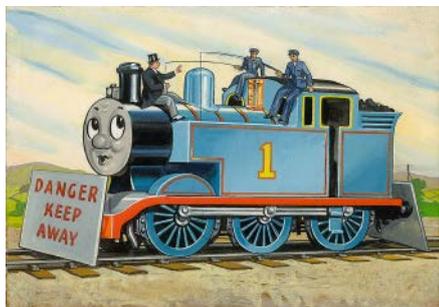


ソドー島のジオラマより

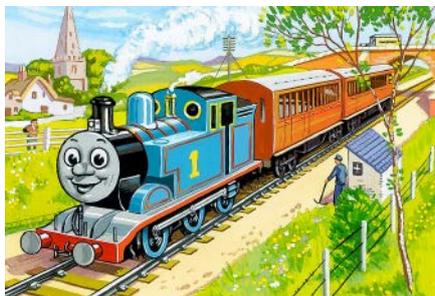
- ・トーマスたちが暮らすソドー島が巨大ジオラマに。物語の名シーンが再現されています。
- ・記念撮影が楽しめるフォトスポットを設置。
- ・展覧会オリジナルグッズが購入できる特設ショップ開設。
- ・館内カフェで展覧会とのコラボメニューを提供。

広報用画像

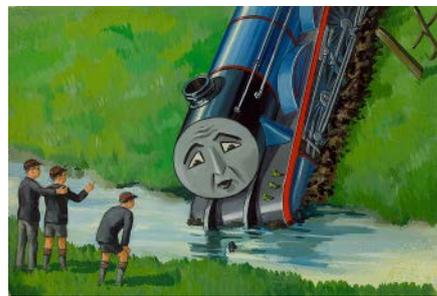
展覧会広報用として作品画像を提供いたします。ご希望の方は、画像データ申込書にご記入の上、メールもしくはFAXでお申し込みください。



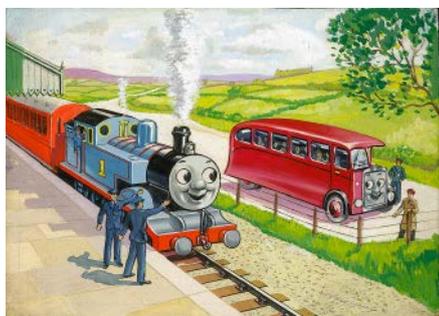
1 レジナルド・ダルビー
『トーマスのさかなつり』1949年



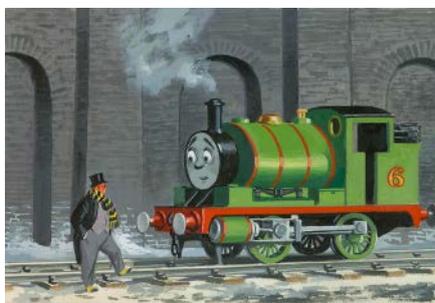
2 レジナルド・ダルビー
『トーマスと車しよう』1949年



3 レジナルド・ダルビー
『ゴードンの脱線』1953年



4 レジナルド・ダルビー
『トーマスとパーティー』1949年



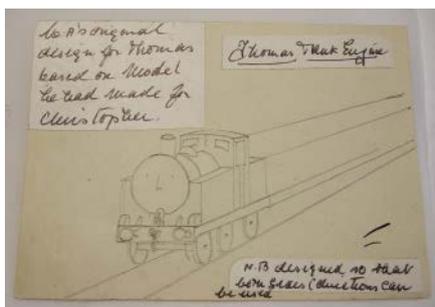
5 ジョン・T・ケニー
『みんなのだいひょう』1960年



6 ジョン・T・ケニー
『ダック、とこやさんへいく』1958年



7 ガンバー&ピーター・エドワーズ
『エドワードのはなれわざ』1966年



8 ウィルバート・オードリー
〈トーマスのオリジナルデザイン〉



9 『ライフレススズ』



10 ソドー島のジオラマより



11 ソドー島のジオラマより

画像データ申込書

【使用条件】

※画像の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。

※画像のトリミング、文字を重ねるなどの画像の加工・改変、部分使用はできません。

※使用後のデータは破棄してください。

※画像に記した「作品名」および下記「クレジット」を必ず明記してください。



© 2021 Gullane (Thomas) Limited.
© 2021 HIT Entertainment Limited.



© 2021 Gullane (Thomas) Limited.
© 2021 HIT Entertainment Limited.

貴社名：

媒体名：

所在地：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

Email：

ご希望の画像にチェックを入れてください。

- 1 レジナルド・ダルビー『トーマスのさかなつり』1949年
- 2 レジナルド・ダルビー『トーマスと車しよう』1949年
- 3 レジナルド・ダルビー『ゴードンの脱線』1953年
- 4 レジナルド・ダルビー『トーマスとパーティー』1949年
- 5 ジョン・T・ケニー『みんなのだいひょう』1960年
- 6 ジョン・T・ケニー『ダック、とこやさんへいく』1958年
- 7 ガンバー&ピーター・エドワーズ『エドワードのはなれわざ』1966年
- 8 ウィルバート・オードリー〈トーマスのオリジナルデザイン〉
- 9 『ライフレススズ』
- 10 ソドー島のジオラマより
- 11 ソドー島のジオラマより